

承認	議長	副議長	事務局長	総括参事	合議	担当
					 	

様式第1号

令和 6年 1月16日

真庭市議会
議長 小田 康文 様

真庭市議会議員 浅野 和昭 

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

鹿児島県指宿市観光協会、南九州市知覧特高平和会館・武家屋敷
長崎県長崎市原爆資料館、長崎市グラバー園

3 内 容

・指宿市では温泉地への観光客誘致について
・南九州市では知覧平和会館において歴史・平和教育、武家屋敷では観光客誘致について
・長崎市では歴史・平和教育と国重要文化について

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ 不要



(注1) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

(注2) 要請・陳情活動の内容がわかる資料を添付すること。

R6年1月29日（月）～2月1日（木） 九州地方視察

	29（月）	30（火）	31（水）	1（木）
7:00	自家用車			
8:00	落合IC⇒岡山IC		8：43鹿児島中央⇒11：24長崎	
9:00	9：42岡山⇒12：53鹿児島中央	南九州市 知覧特攻平和会館	新幹線さくら546号	
10:00	新幹線さくら547号		特急リレーかもめ17号	グラバー園
11:00			新幹線かもめ17号	
12:00				13：45長崎⇒16：57岡山
13:00	レンタカーにて移動	南九州市 武家屋敷通り	原爆資料館・平和祈念館・平和公園	新幹線かもめ32号
14:00	指宿市観光協会			特急リレーかもめ32号
15:00				新幹線つばめ320号
16:00				新幹線のぞみ42号
17:00	指宿シーサイドホテル	ドーミーイン鹿児島		自家用車 岡山IC⇒落合IC
宿泊			カンデオホテルズ長崎	

	【指宿市観光協会】	【知覧特攻平和会館】	【長崎原爆資料館・平和祈念館・公園】	【グラバー園】
視察先	指宿市湊2-5-33	南九州市知覧町郡17881	長崎市平野町7-8	長崎市南山手町8-1
	0993-22-3252	0993-83-2525	095-844-1231	095-822-8223
		【知覧武家屋敷庭園】		
		南九州市知覧町郡13731-1		
宿泊		0993-58-7877		
	【指宿シーサイドホテル】	【ドーミーイン鹿児島】	【カンデオホテルズ長崎】	
	指宿市十二町3750	鹿児島市西千石町17-30	長崎市銅座町3-12	
	0993-22-2221	099-216-5489	095-829-3300	

議長 副議長 局長 係長 係 回 覧



様式第2号

報 告 書

令和 6 年 2 月 15 日

真庭市議会議長 小田 康文 様

報告者 真庭市議会議員 浅野 和昭



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究 研修会・要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1	日	時	自	令和6年 1 月 29日	<u>午前・午後</u>	7時 00分
			至	令和6年 2 月 1日	(午前・ <u>午後</u>)	7時 00分
2	場	所	1月29日 指宿観光協会			
			1月30日 知覧武家屋敷庭園、知覧特攻平和会館、ホテル館			
			1月31日 長崎原爆資料館・長崎原爆死没者追悼平和祈念館・爆心地公園・平和公園、国指定史跡出島和蘭商館跡			
			2月1日 国重要文化財 グラバー園			



3 用 件	・温泉観光地の現状と今後の課題について学ぶ ・平和学習を学び、真庭市の小中学生のみならず、市民全体への歴史と戦争と平和教育に活かす ・国重要文化財、国指定史跡の運営方法や施設を視察し、今後の真庭市の指定管理施設運営に活かす
4 概 要	

報告書（継紙）

・指宿市観光協会

指宿市は、市内の至る所から湧き出る泉源が1,000か所を超え、砂むし温泉は世界的にも珍しく、コロナ感染症流行前は年間約400万人の観光客がきていた。

県外・海外からの観光客の割合が多かったそうだが、アフターコロナとなった現在は、鹿児島空港の職員不足により海外便の再開ができていない事と、ホテル等の宿泊施設の従業員不足により、タクシー会社のドライバー不足により悪循環が起こっていた。

ホテル等では従業員不足により従来行っていた夕食の提供ができなくなった所が多く、宿泊者へ外食を勧めているそうだが、飲食店は市内各地に離れていて距離もあり、タクシーや代行は1～2時間待ちという状況となり、悪循環が発生しているとの事であった。

課題はどの業種でも人材確保であることが分かっている事から、観光協会のみの努力での打開は難しく、行政との連携が必須であるとの事だった。

湯原温泉がある真庭市においても、人材不足になれば同様の事態になりえる事を感じた。人材育成・確保、ICTやdXなど早急な対策が必要であると感じた。

・知覧武家屋敷庭園（国の重要伝統的建造物群保存地区）

閑散期の早朝に見学しました。アフターコロナで観光客数が減少したとはいえ、団体客が多かったのが印象的です。庭園各地の入口に記されたQRコードをスマートホンで読み取れば無料でオーディオガイドの案内が流れ、それぞれの武家や庭園の見どころなどを詳しく説明されるのがとても良かった。

1651年に造られたのではないかとされる7つの庭園のうち6つの庭園では現在でも居住され、観光スペースと居住スペースが分離されており、共存が図られていた。

庭園の所有者の話によれば、地域の高齢化率が極めて高くなり、道路では自動車事故が頻発している事が課題であり、道中は気を付けるようにとの助言をいただいた。

旧武家屋敷には条例により固定資産税の優遇措置があるそうで、地域と行政が一緒にまちづくりや計画を練っているとの事でした。各庭園は年に2回庭師が剪定するそうで、庭園が造られた当初からの庭木の形を維持しているとの事だった。

90分程度で見学はできるが、観光バス用の駐車場や個人車両用の駐車場がそれぞれ分けて設置されていた。入場チケットは5か所で販売されているとの事なので、一か所に集う事がないのでスムーズに見学できるようになっていた。

地域の歴史と江戸時代の藩政の両方が学べる見学でした。真庭市でも観光地にQRコードなどを記せば、人員がいなくても伝統や文化などを観光客に案内する事ができるのではないかと思います。

・知覧特攻平和祈念館

知覧飛行場は第二次大戦当時に旧陸軍の航空基地の一つとして特攻隊員が出撃した地である。1,036名の出撃者のうち、知覧からは439名が出撃して亡くなっている。

祈念館は「戦争の悲惨さ、命の尊さ、平和の大切さ、家族の絆」について学び、展示する施設であるとの事でした。

この施設では戦争の中でも特に特攻に関する資料が多く残されており、館内には遺影、遺品、映像、語り部、企画展示、タブレット案内などがあり、当時の状況を詳しく知ることができる。

戦死者を都道府県別・市町村別の出身地から検索する事ができ、館内のどの場所に遺影や遺品が展示されているか、隊員情報として戦線、戦死年月日、隊名、階級、年齢、出撃機種、戦死場所などが分かるようにされている。依頼すれば関連した写真などの展示場所も調査してくれる。

真庭地域からは2名が出撃されていた。

戦争末期になるとベテランのパイロットが少なくなくなり、少年兵や学徒兵が飛び立った。

旧陸軍の特攻兵で戦死した者のうち、17～20歳が375名、21～25歳が565名であった。最年少は17歳、平均年齢は21.6歳であった。生まれた時代もあったかも知れないが、国を守るためにこういった気持ちで若者が犠牲になったか、必ず伝えていかなければならない事だと思った。

・ホテル館

旧陸軍の指定食堂だった富谷食堂がホテル館という名称で資料館になっている。当時の特攻

兵と店主との細かなやり取りや遺族との対話などが展示されている。

特攻に飛び立つ前の特攻兵の日常のやり取りや気持ちなど、当時の様子を細かく知ることができる資料館である。

機密のために自身の所在地を家族にも伝える事ができず、特攻兵として死ぬことが決まっている中で日々の生活を送っていた状況など、想像もできないような状況であったことがわかる資料館であった。

・長崎原爆資料館、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館

資料館内はA～Dに分類され、A,原爆がされた当日の状況、B,原爆による被害、C,核兵器のない世界を目指して、D,ビデオルーム他となっている。

爆心地の直下では光った瞬間に3～4,000度の高熱で人間が蒸発、または炭化して一瞬で死亡し、被爆中心地の致死率は100%であったとの事。数キロ離れていた方々が被ばくして生存し、その後も様々な形で苦しんできたことが展示されている。

約24万人いた当時の長崎市民のうち死者が73,884名、負傷者が74,909名の被害が出ている。

当時使用された核爆弾と同じ大きさの爆弾模型が展示されている。爆弾には7kgのプルトニウムが使用されたが、実際には600gのみ有効に爆発したとの事。広島は1.4倍の被害であったが実際には10倍以上の攻撃目標を想定しての投下だった事が分かっているとの事でした。

館内には原爆投下として選定された日本国内17の都市が展示されている。北九州市に投下予定だったが前日の空襲により目標が見えず、長崎市に変更された事も聞いた。

様々な被害状況を忠実に展示しているが、最後の被爆地として今後の平和への希求を強く感じた。この事実も忘れずに後世に残し、伝えていかなければならないものだと思います。

・出島和蘭商館跡

江戸時代当時の出島の商館跡を完全復元し、当時の状況や歴史を知る事ができる施設であった。218年間西欧との窓口として栄えた状況や、当時の生活様式が分かる。

出島から日本各地への貿易ルートなども記載され、日本の近代化に必要な物や情報が集まった経緯が分かります。

指定管理施設であり、バリアフリー化、ミュージアムショップ、レストラン、着物レンタル、専属ガイドツアーなどが用意されている。

・グラバー園

国重要文化財の成功事例として見学に訪れた。コロナ感染症流行前には年間100万人の来

場者があったとされる施設であったが、バスや路面電車でのアクセスが良く、見学者が多く感じた。

園の中を回りやすくするためにルート化し、坂道へはエスカレータを設置し、車いすの方へは職員が一部対応するとの事であった。

展示物の他にVRでの見学などの企画も行っていた。補修工事に関しては来場者に迷惑を掛けないように人気施設を工期をずらしながら行っているとの事。

グラバー園のみならずドックハウスなども移築し、幕末から維新にかけての時代背景を知る事もできる。

カフェやレトロ写真館、ショップや長崎市の伝統文化財の展示があり、来場者にニーズを的確に把握して運営していることが感じられた。

様々な国重要文化財がある中で、真庭市において参考となるものが多く学べた。

国指定史跡

出島
和蘭
商館跡

日本が海外と交流
を閉ざしていた鎖
国時代。長崎が西
欧に開かれた唯一
の窓口でした。岬の
突端にある扇形を
した人工の島。この
小さな島から、西欧
の新しい知識と文
化が日本中に広ま
っていったのです。
そして復元が進む
今、新しい出島がは
じまっています。

あたら
しい
出島が
はじま
る。

出島
散策
マップ

Dejima

出島

dejima
nagasaki

いぶすきをさあ歩こう!

公益社団法人 指宿市観光協会

IBUSUKI CITY TOURISM ASSOCIATION

事務局長

廣 森 一 仁

Hiromori Kazuhito

090-8350-3890

〒891-0405 鹿児島県指宿市湊2丁目5番33号

TEL(0993)22-3252 FAX(0993)22-3884

✉ k-hiromori@ibusuki.or.jp 🌐 https://www.ibusuki.or.jp

Chiran
Peace
Museum



知覧特攻平和会館

管理係 係長

NURUKI

Kiyohisa

管理組合 事務局次長

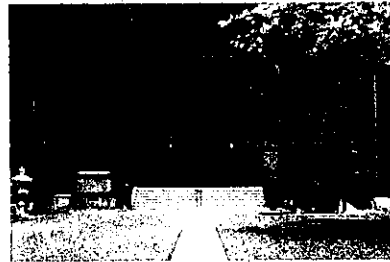
塗木 清久

〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町郡 17881 番地

TEL: 0993-83-2511(内線 5231)

FAX: 0993-83-4859

heiwa@city.minamikyushu.lg.jp



知覧特攻慰霊顕彰会

事務局 大隣 健二
Otonari Kenji

〒897-0302

鹿児島県南九州市知覧町郡17881

TEL 0993-83-1526

FAX 0993-83-4859

heiwakaikan@samba.ocn.ne.jp

HP: http://www.chiran-tokkou.jp



知覧特攻平和会館

語り部 桑代 照明

Kuwashiro Teruaki

〒897-0302

鹿児島県南九州市知覧町郡17881

TEL 0993-83-2525

FAX 0993-83-4859

heiwakaikan@samba.ocn.ne.jp

HP: http://www.chiran-tokkou.jp



nagasaki minamiyamato
GLOVER GARDEN

グラバー園

入場券

美しい日本の歴史的風土100選 二〇〇七年三月一日
日本の道100選(優れた環境で美しい景観)一九八六年八月建設省選定
建設省手づくり郷土賞(人と風土が育めた家並み)一九八六年七月受賞

知覧の小島
知覧の庭園

知覧武家屋敷庭園有限責任事業組合